

### 第3回 サンドラムモニタリング部会 議事概要

日 時：平成31年3月25日（月）14:00～16:00

場 所：旭川地方合同庁舎 東館1階 入札執行室

出席委員：岡村委員、藤巻委員、眞山委員、保田委員、柳川委員、渡邊部会長

#### 【平成30年度のモニタリング調査結果について】

（水質について）

・北海道では富栄養化の心配が無いと思われていたのでサンドラムでは植生を残置した。貯水池内の底層貧酸素化や栄養塩類溶出等の状況を注視し、今後の北海道内のダム事業においても参考にすべきである

・貯水池内の水質変化は下流河川にも影響する可能性があることから注視してほしい。

（気象データについて）

・貯水池の出現によって気温、湿度、風向風速等の状況が変化する可能性がある。植生への影響も懸念されるので、データを整理すること。

（水鳥調査について）

・水鳥に関しては現時点で特質すべき点はない。次年度以降の状況を確認してから評価したい。

#### 【次年度以降のモニタリング調査計画（案）について】

（生態系典型性陸域について）

・水没しない範囲の貴重種についても周辺環境変化（気象条件等）によって影響がある可能性がある。

（生態系典型性河川域について）

・ダム建設とダム下流河川の樹林化はセットのようなものである。下流河川の状況をUAV撮影など活用して十分に監視してほしい。